

新技術・新工法

登録番号	24038	
新技術名	3Sジョイントを用いた分割プレキャストカルバート	
副題	モルタル充填式鉄筋継手によるプレキャスト部材接合を採用した分割式プレキャストカルバート	
従来技術名	上下PC接合プレキャストボックスカルバート	
活用区分	—	
新技術等の区分	工法	
新技術等の分野	安全性、施工性、県産資材活用	
NETIS番号	SK - 230013 - A	
問い合わせ先	昭和コンクリート工業（株）熊本営業所 096-383-9444	

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・部材位置調整機構と特殊目地形状の部材接合(3Sジョイント：Strong, Speedy, Safety-JOINT)を有する分割式の大型プレキャストカルバート。 ・従来工法(PC鋼材圧着接合)は、部材据付後PC緊張を行い、PC鋼材に対して1本毎にグラウト材の注入を行っていた。 ・本工法(3Sジョイント)は、モルタル充填式鉄筋継手を介して部材間の鉄筋を一体化したRC構造で、各鉄筋継手(機械式継手)がつながっている特殊目地形状により、1箇所からのモルタル注入で全ての鉄筋継手(機械式継手)への充填が可能である。 								
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・PC鋼材の緊張により上下部材を接合していたものを、モルタル充填式鉄筋継手と専用充填モルタルにより一体化するRC構造の部材接合。 ・目地部に上下部材の位置決め用のピンを配置したことで、部材設置の際の位置決め等が容易。 ・本体断面にヒンジ構造を有しない。(剛性構造:カルバート指針に準拠) ・1孔からのモルタル注入で全鉄筋継手の接合(充填)が可能であるため、PC鋼材緊張結合に比べ施工性・安全性に優れる。 ・作業時間の短縮が可能となる。 								
適用可能な箇所	<ol style="list-style-type: none"> 1自然条件 モルタル充填は0°C以上の環境下にて施工 2現場条件 充填作業スペース1m×1m程度必要 3技術提供可能地域 全国 4関係法令等 特になし 								
施工単位等	<table border="0"> <tr> <td>新技術</td> <td>16,430,048円/施工延長10m</td> </tr> <tr> <td>4分割ボックスカルバート</td> <td>B5500×H5000</td> </tr> <tr> <td>従来技術</td> <td>15,163,250円/施工延長10m</td> </tr> <tr> <td>4分割ボックスカルバート</td> <td>B5500×H5000</td> </tr> </table>	新技術	16,430,048円/施工延長10m	4分割ボックスカルバート	B5500×H5000	従来技術	15,163,250円/施工延長10m	4分割ボックスカルバート	B5500×H5000
新技術	16,430,048円/施工延長10m								
4分割ボックスカルバート	B5500×H5000								
従来技術	15,163,250円/施工延長10m								
4分割ボックスカルバート	B5500×H5000								